

ようか。今日までの成果と、今後の目標・改善点は。

### 福井町長

物産館は、牟岐町の観光イベント、店舗、民宿などの案内から土産物や不動産物件の紹介まで多様な事業に取組んでいただいております。土産物として開発していた天草麵、イカスミ麵、ミニ草履などが展示販売されています。

一次産業あつての牟岐町ですが、現在の一次産業だけでは雇用は生み出せないと考えており、観光産業の活性化を図る必要があります。

そのためにも、移転を含め経費の節減を図るとともに多くの方に来店していただけるよう工夫を重ねていきます。今月中に今後の展開を検討します。

### 久米産業課長

1年間で来館者は4300人で町内からは約4分の1、1日平均14人です。開設後ホームページ、ブログ、フェイスブックページを開



残土処分場 入口

設し、これまで1万件以上のアクセスがありました。特に3月はアート展の報道以降1660件のアクセスがありました。

直接販売総額は200万円、手数料が15%でございまして、30万円の収入となります。

町内の生産者、事業所への紹介等による波及効果のデータは持っていませんが、施設自体の採算性より、今後はここに重点を置いた取り組みをすべきだと考えています。

### 土砂の運搬には 細心の注意を

#### 藤元議員

避難場所、病院、道路建設に伴い残土処理場まで35万mの土砂を運搬しなければなりません。単純に計算すると10tダンプに延べ8万7500台分ということになります。騒音、ほこり、運搬経路、交通安全対策、ダンプの台数等の計画は。

### 福井町長

関係家屋の事前調査、振動、騒音、防塵対策など、できる限りの対策を県とともに実施していく必要がありますと認識していますし、交通安全対策についても必要な場所に交通整理員などを置くなど、事故発生の防止や渋滞の緩和に向け対策を検討します。

#### 寒業建設課長

事前に地元及び運搬経路周辺のみなさま方に十分説明させていただきますとともに、請負業者に対する指導監督を徹底させます。

### 体罰の根絶を

#### 藤元議員

体罰を行う教師が指導の熱心な教師、熱血教師などと褒めたたえられた時代もありましたし、保護者の中にも体罰容認意見が根強く残っています。しかし、学校現場での体罰や暴言で子

どもたちを自殺や心の病、勉強嫌いに追い込んでしまつて良いわけがありません。体罰がなぜいけないのか。また、本町学校における体罰の現状と、今後の取り組みは。

#### 峯野教育長

体罰は、子どもの身体への痛みと心の傷を将来にわたつて残すことになりまふし、恐怖感、屈辱感を与えられ自尊心や尊厳を傷付けられた子どもたちは、無力感や劣等感を抱き心身の健全な発達が阻害されます。また、教師と子どもとの信頼関係を崩し、保護者、地域からの不信感を招き、学校教育全般にわたり深刻な影響を及ぼすことになりまふ。さらに文部科学省が明らかにしているように、体罰による指導では正常な倫理観を養うことができず、むしろ子どもに力による解決への志向を助長させ、いじめや暴力行為などの土壌を生む恐れがあります。昨年度の調査では、本町学校での体罰はありません